



『大』キャッチ プレス

Matsubara Daisuke Seto City Report

松原 大介

瀬戸市議会議員

2024



2024年4月発行



Vol.19

子ども医療費助成(通院も!)を
18歳までに拡大決定
(令和6年10月から)



増岡錦也元市長が 名誉市民に

市政の発展に寄与した功績が顕著であるため、名誉市民として推挙され議会にて可決となりました。

带状疱疹ワクチン助成開始

50歳以上の市民を対象に、带状疱疹ワクチンの接種費用の一部を助成します。

不活化ワクチン：2回要接種 1回1万円上限で2回助成。

生ワクチン：1回接種 1回4000円上限で助成。

令和6年度当初予算に 組替動議!



中水野駅周辺土地区画整理事業において、組合設立を行うにあたっては、法律上の本同意率2/3(66.7%)以上ではなく、愛知県が指導している85%以上が望ましい。そのプロセスと合意形成のために、同僚議員と予算の組替動議を行いました。9対16で否決されました。



みんなと

しゃべくり広場

日時：4月23日（火）
19:00～20:30
道泉地域交流センター

テーマ

「瀬戸市の政策の優先順位はどうあるべき?！」

日時：4月23日（火）19:00～20:30

場所：道泉地域交流センター

申し込み：不要です。当日に直接お越しください。

参加費：無料

松原大介の一般質問

中期事業計画の査定から 本市の方向性を問う



YouTube動画は
こちら！

令和5年12月に示された中期事業計画（令和6年度～令和8年度）は、川本市長となって最初の予算編成となりました。また3カ年計画である本計画は、市長の任期末と重なることから、市長が任期中に何を成そうとしているのかを読み取れます。それを踏まえ、各部局からの予算要求に対し、どのような政策判断を基に査定を行ったのか、どのような優先順位付けにしたのかを明らかにし、市長が目指す今後の本市の方向性について伺いました。

（松原）財政運営として、投資的経費の平準化の検討とあるが、具体的に何年までの経費がポイントか。



（市）これから令和13年度までが、多くの改修・更新費を要する期間と見込んでいる。

（松原）消防新庁舎整備を見送ったのは昨年12月。その後に能登半島地震が発生した。施設の延命措置にしかならぬ大規模改修は、見直すべきではないか。



（市）新庁舎ではなく、大規模改修のなかで、安全安心を守るための機能維持を図る。

（松原）二大大型事業である、大規模道路整備と中水野区画整理のスケジュールがR11年度まで、まるまる重なっている。中水野区画整理のスケジュールをずらすことこそ投資的経費の平準化ではないか。



（市）二大事業のスケジュール重複も考慮したうえで、他の事業のスケジュールを調整した。

（松原）「かたよらない市政の実現」「暮らしの4要素の充実」という市長の方針と査定では、方向性が乖離している。全市民の生命と財産を守る消防新庁舎建設を前提に、中水野区画整理のスケジュールを調整すべきではないか。



（市長）消防庁舎については、内容をもう一度精査しながら、よい消防庁舎を作っていく想いがある。また、若い世代の人たちが瀬戸に移り住んでいただくような事業も必要であり、総合的に判断した予算配置としている。

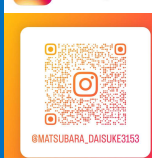
松原大介応援クラブ

〒489-0055 愛知県瀬戸市滝之湯町24-1

TEL: 0561-76-3153

Email: d.matsubara3153@gmail.com

Instagram



facebook



松原大介応援クラブ
ホームページ

